

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	いつも同じ入居者ばかりになっている。	均等に状態に合わせた、役割の提供出来る様に、配慮し満足感を得て頂けるようにする。	個々にあった役割を提供し、楽しみや生甲斐を持って頂けるよう余暇活動も充実させる。	6ヶ月
2	41	一人ひとりの食事内容や摂取量が把握出来てない。	制限食が多いため、入居者に合った食事の提供を行う。	一人ひとりの食事形態を把握し、調理方法を工夫し盛り付けも入居者まかせにせず職員が確認する。	6ヶ月
3	3	排便の確認が取りにくい。	一人ひとりの排泄パターンを把握する。	トイレ時の見守りや声掛けの徹底を行い、職員間の報告と連絡を密に取る。	6ヶ月
4	19	遠方の家族が多く面会も少なく、コミュニケーションが取りにくい。	職員が間に入り本人と家族の絆を大切にしている様に支援する。	家族と連絡を密に取り、日頃の様子や病状などために情報交換を行う。 面会の声掛けを促し、面会時には話しやすい雰囲気を作る。 月1回のお便りにて近況報告をする。	6ヶ月
5	5	訓練を行っているが、いざという時不安がある。	常に防災意識を持ち対処出来る様にする。	いろいろな災害訓練を行い、ミーティング時に災害について話し合いを行う。また、マニュアルを職員が把握しているかを定期的に確認する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。